

令和7年フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長(2)中南信

農業農村支援センター、試験場で実施したフェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長調査の結果です。

(農業農村支援センター調査データは7日間隔で調査したものを5日間隔に補正してあります。)

【コメント】

- ・塩尻市では、全般に平年と比べ誘殺頭数が多く、特に7月の総誘殺頭数は平年値の約4倍であった。8月第3、第4半旬は平年と比べ少なかった。
- ・松川村では、7月第1半旬～8月第1半旬に発生山の山がみられ、平年と比べかなり多かったが、8月中下旬は平年と比べ少なかった。
- ・富士見町では、7月第4半旬～第6半旬の誘殺頭数が平年と比べやや少なかったが、それ以外の期間は、平年と比べやや多い状況が続いている。
- ・茅野市では、5月下旬に1回目の発生山の山がみられ、7月上旬以降も発生山の山が続き、平年と比べ誘殺頭数がかなり多い状況が続いている。
- ・伊那市では、7月上旬まで誘殺頭数が平年と比べ多く、7月中下旬は平年並であったが、7月中旬に発生山の山がみられ、平年と比べ誘殺頭数が多かった。
- ・駒ヶ根市では、6月の誘殺頭数はほぼ平年並、6月第6半旬～7月第3半旬は、平年と比べやや多く、その後は平年と比べ誘殺頭数は少なかった。
- ・阿南町では、5月下旬、6月第4半旬～7月第3半旬、7月第6半旬～8月第1半旬に発生山の山がみられ、全般に平年と比べ誘殺頭数が多かった。



